

(別記様式第26号)

奨学金返還猶予願(記入例)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・傷病・外国留学等・生活保護・進学準備中 就職活動中・低収入・産育休中・その他()
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 8 回分 (2019年1月 ~ 2022年12月) 半年賦 × 4 回分 (2019年1月 ~ 2022年12月) ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	〇〇大学に入学したため、4年間の猶予を申請します。 (〇〇大学△年に在学中のため、×年間の猶予を申請します。) ※学生証の写し又は在学証明書を添付してください。

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

(別記様式第26号)

奨学金返還猶予願(記入例)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・傷病・外国留学等・生活保護・進学準備中 就職活動中・ 低収入 ・産育休中・その他()
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 2 回分 (<u>2019</u> 年 1 月 ~ 2019 年 12 月) 半年賦 ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	低収入により返還が困難なため。 ※所得を証明できる書類(直近の所得証明書、源泉徴収票 または最近1年分の給与支払証明書等)を添付して申請し てください。

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

※ご記入いただいた情報は奨学金貸与業務(返還業務を含む)のみに利用いたします。

(別記様式第26号)

奨学金返還猶予願(記入例)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・傷病・ 外国留学等 ・生活保護・進学準備中 就職活動中・低収入・産育休中・その他()
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 2 回分 (2019 年 1 月 ~ 2019 年 12 月) 半年賦 ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	〇〇国の〇〇学校へ〇〇留学のため。 ※留学等を証明できる書類を添付して申請してください。

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

※ご記入いただいた情報は奨学金貸与業務(返還業務を含む)のみに利用いたします。

(別記様式第26号)

奨学金返還猶予願(記入例)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・ 傷病 ・外国留学等・生活保護・進学準備中 就職活動中・低収入・産育休中・その他()
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 1 回分 (<u>2019</u> 年 1 月 ~ 2019 年 12 月) 半年賦 ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	〇〇(病名)により返還が困難なため。 ※診断書(療養期間、就業困難の旨の記載があるもの)などを添付してください。

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

※ご記入いただいた情報は奨学金貸与業務(返還業務を含む)のみに利用いたします。